

神原川歯科大学 同窓会会報



141号 2025年1月



Kanagawa Dental University Alumni Association

<https://inaoka82.com/>



巻頭言	会長 大館 満	2
新年の挨拶 横這い力	鹿島 勇	3
新年の挨拶 新年号会報へ寄せて	櫻井 孝	4
第71回 全国歯科大学同窓・校友会懇話会	桂 一平	5
会務報告 (令和6年7月から12月まで)		6
学術講演会報告 辺見浩一先生講演会報告記	藤野拓郎	7
玉置勝司先生講演会報告記	前畑 香	8
奥野幾久先生講演会報告記	前畑 香	9
同窓便り 北海道地区連合／東北地区連合		10,11
東海地区連合／四国地区連合		12,13
福島県支部／山形県支部／埼玉県支部		14,15,16
滋賀県支部／大阪府支部／広島県支部		18,19,20
高知県支部		21
クラス会報告 4回生クラス会	相原元一	22
6回生クラス会	西村吉行	23
9回生クラス会	加来 めぐみ	24
10回生クラス会	王朝駿	25
褒章・叙勲受章 令和5年叙勲、表彰		26
お知らせ		27

- 表紙題字：大館 満 会長
- 表紙写真：金子宜由（広報委員）
- P.10～P.21の「同窓便り」に公益社団法人 日本歯科医師会 広報課より許可をいただき、日本歯科医師会 PR キャラクター「よ坊さん」のイラストを使用しています。

年頭のご挨拶

神奈川歯科大学同窓会

会長 大館 満



新年明けましておめでとうございます。

皆様には日ごろより同窓会活動に対しご理解とご協力を賜り心より御礼申し上げます。

昨年の夏は終わることなく10月まで続いたイメージがあります。気温のみならず線状降水帯による洪水や台風、雷、そして海外では降水の減少による山火事など、多くの災害を誘発しております。気候温暖化が原因と思われるが、このまま推移して行けば地球環境の悪化により食料危機、エネルギー供給不全、そして生活の安全維持に多くの懸念を感じます。かなり困難な課題とは思いますが、できれば食料、エネルギーの国内での自給自足を願っております。今回の衆議院選でもこの件を公約に挙げた党も議員もいませんでした。地球温暖化は簡単には止められません、とりあえず国民のため国内での食料とエネルギーの自給率を上げていただきたいと思っております。

本部同窓会では5年ほど前に、新型コロナウイルス感染症の蔓延で本部同窓会創立50周年記念式典、祝賀会が中止になりました。新型コロナウイルス、インフルエンザ、ともにまだまだ気を許せない状況が続いていますが今年、令和7年10月18日土曜日に50周年記念式典、祝宴を開催することを決定いたしました。創立以来55年ほど経過しておりますが多くの方から半世紀50周年は節目の年であるので50周年の名称で開催してほしいとの要望がまいました。今回は50周年の名称で開催させていただきます。同窓会も変革の時期を迎えております、50周年式典を一つの区切りとして新しい同窓会の形を提案していきたいと思っております。

昨年11月16日に第71回全国歯科大学同窓、校友懇話会をわれわれ神奈川歯科大学同窓会が当番校として担当させていただきました。メインテーマは「同窓会

活動でのダイバーシティへの対応」としてアンケートを基として協議をさせていただきました。多くの意見をいただき同窓会活動への大きなアドバンテージをいただきました。その中で特に女性参画について多くの時間を割かせていただきました。

各大学の在校生の男女比率が徐々に変化を示しており神奈川歯科大学においても学年によっては女性40%のクラスも存在します。他校では50%を超える学年もありこれからの歯科界に大きな課題となることがわかりました。アンケート資料をもとに同窓会改革を進めて参ります。

歯科界に目を向ければ歯科に対する魅力の低下とともに少子化の影響で受験生が減少しております。国家試験のシステムを考えると歯科大学を卒業しても歯科医になれる保証はなく、国家試験浪人も増えております。歯学部を目指す本人はもとより、ご両親も安心して歯学部への入試を薦めることができません。日本歯科医師会でもこの問題を重視し厚労省と歯科医師会との合意を見直す方向であるとの発言がありました。昨年は歯科医師数も減少に転じ歯科医過剰対策から減少対策へ方針の変更が望まれます。

毎回同じお願いですが、同窓会としては優秀な学生を集め、神奈川歯科大学発展のため応援していきたいと考えております。卒業生の「子女枠」を改め卒業生の推薦で子女でない受験生も認める「卒業生推薦枠」となり、入学金の一部も軽減され、気楽に推薦できる制度となっています。皆様の近隣のお知り合いの子女でも可能ですのでご紹介のほどよろしく願いいたします。

本年も皆さまにはご高配とご指導、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

横這い力



学校法人神奈川歯科大学 理事長 鹿島 勇

本学は、16年前の不正投資事件によって当時豊富にあった内部留保のお金を使い果たしてしまいました。その結果、45年以上を経過した附属病院や本部棟の建て替えの計画もなく、着た切りスズメの状態であげられました。しかも不祥事は全国的に知れ渡り、同窓生の皆さんもさぞかし肩身の狭い思いをされたことと思います。それに伴った数々の風評被害によって、歯学部新入生の確保は困難を極め、卒業生の大学院進学者も激減しました。それは16年を経過した現在も、中堅クラス（40歳前後）の教員欠如という形で影響は続いています。さらに教職員の大学離れを誘発し、多くの人材が大学を去りました。このような背景の中で、大学再建のための復旧と復興の同時進行が始まりました。

私達はまず復旧の本丸であった収支のV字回復を果たしました。その後、キャンパス改造を進めつつ復興のための新たな挑戦を続けてきました。以来15年間にわたって、新附属病院と本部棟の建て替え、羽田空港サテライトクリニックや日本橋歯科・健脳クリニックの開院、そして東京歯科衛生専門学校の買収等、

それなりに発展を遂げてきました。

その間、負債に苦しむことなく借金もせずに走り抜いて来れたのは、教職員の理解と協力の賜物であると常々感謝しています。そのお陰で、法人の収支は急激な上がり下がりや繰り返すことなく、プラスマイナスゼロのラインを安定して持続することができました。この“横這い力”こそが本学の総合力、すなわち真の底力といっても過言ではありません。さらに研究棟や体育館、講堂、解剖実習棟そして図書館等これからもキャンパス改造は続きます。私達は体力を蓄えながら一応の目途がつくまで戦略的にこの“横這い力”を守り抜いていかねばなりません。同窓会の皆様方の御支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

以下に本学の18年間にわたる収支を示します。棒グラフは、大学としての体を成す必要最低条件である教育研究キャッシュフローを示します。一方、折れ線グラフは大学の永続性を担保する帰属収支差額を示す経営指標です。両者とも安定した横這いを維持し続けています。



新年号会報へ寄せて

学校法人神奈川歯科大学 学長 櫻井 孝



同窓生の皆様、新年おめでとうございます。謹んで新春の御慶びを申し上げます。

この度は神奈川歯科大学同窓会会報新春号において、皆様に御挨拶させていただける大変貴重な機会を頂戴し誠に有難うございます。厚く感謝申し上げます。また、同窓会会員の皆様におかれましては、平素より本学に対する多大なる御理解と御協力、御支援を賜り心から感謝致しております。重ねて御礼申し上げます。

関東におきましては、幸いなことにここ暫く大きな災害は発生していませんが、能登半島地震や、各地での台風、大雨などによる大規模災害のニュースに接するたびに、同窓生や学生さんの安否や地元における被害に思いを馳せ、心配する機会が増えております。同窓生の皆様、また関係者様におかれましては、甚大な被害を受けた方がおられることと存じます。心よりお見舞い申し上げます。

さて、2025年の干支は乙巳（きのとみ）であり、努力を重ね、物事を安定させていく意味合いを持つ年だそうです。乙巳の年は、多くの人にとって成長と結実の時期となる可能性が高く、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆するとのこと。歯学部におきましては、臨床実習前に実施している共用試験が2024年度より公的化されました。厳密には国家試験ではありませんが、共用試験への合格が歯科医師国家試験を受験するための必須要件となっておりますので、国家試験の予備試験を各大学において実施するような状況と言っても良いのではないかと思います。御存じの方も居られるかも知れませんが、歯科医師法の改定により、共用試験に合格した歯学生が、処方箋は発行できないという一部制約はあるものの、指導歯科医監督の下に歯科医業として診療が行えるよう、法的な整備も併せて進められました。従来の臨床実習には、学生が歯科医療行為を行うことに対する法的な担保がありませんでしたので、今後はより安心して臨床実習を進めることが可能となりました。本学におきましても、これまで数年かけて公的化に向けての準備に取り組んでまいりましたので、今年はその成果がより良い形で結実することを祈念致しております。

喜ばしいことに、新型コロナウイルス感染症の脅威が漸く一段落し、各地で様々なイベントが開催されるようになってまいりました。本学の同窓会におけるイベントも次第に復活し、地区連合会や地域同窓会の総

会・懇親会などに御招待いただく機会も徐々に以前の状態へと戻りつつあり、大変有難く存じております。その様な機会は、同窓会の先生方から貴重な意見を直接頂戴できる、私にとりまして非常に重要な好機となっております。先日、大学の人材不足について、改善の必要があるのではないか、という御指摘をいただき、非常に重要な御意見を頂戴したものと感謝致しております。現状といたしましては、過去に発生した不正投資事件後の大学再建や、その後の新規採用控えの影響が、現在深刻な結果を引き起こしており、中堅層以上の教員が少ないという状況が発生しております。学長に就任以来、積極的な人材確保に努めてまいりましたが、新卒採用教員の成長は一朝一夕という訳にはまいりませんので、他大学等にも人材を求め、就任当時と比べ60名程教員数を増やしてまいりました。今後はそれらの教員を含め、後継人材の育成に益々努めてまいる所存です。

先生方御存じの通り、昨今歯学部の人気が非常に低迷しており、東京・大阪以外のほとんどの地方私立歯科大学において募集定員割れを生じております。本学では専任の教職員を配属した募集広報部を新設し、他校にない特色のあるオープンキャンパスの実施、学長・教職員による高校訪問、理事長による予備校訪問、中学校・高等学校向けの個別体験プログラムの提供など、様々な手段を講じて学生募集強化に努力いたしております。また、大変恐縮ではございますが、同窓会にも学生募集への協力を御願ひし、卒業生推薦枠への受験生確保に御尽力いただくなど、大変お世話になっております。紙面上で大変失礼とは存じますが、同窓会の御尽力に対し衷心より感謝申し上げます。都内の大学等と比較して、本学では同窓生子女の学生比率の低いことが悩みの一つとなっております。また、2014年より昨年まで、本学の歯科医師国家試験の総合合格率は、国公立大学を含めた全歯学部の平均を上回る成績を、一度も欠けることなく維持しているという現状もでございます。同窓生の皆様におかれましては、学生募集につきましても、なお一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。今後とも本学への御理解と御支援、御協力を賜りますよう心より御願ひ申し上げます。

末筆となりましたが、皆様の御健勝と、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを御祈念申し上げます。新春号に寄せての御挨拶とさせていただきます。

第71回 全国歯科大学同窓・校友会懇話会

実行委員会委員長 桂 一平



2024年11月16日(土)パシフィコ横浜にて神奈川県歯科大学同窓会の主幹の下、開催されました。

年に1回の全国の同窓・校友会代表者が一堂に会し互いに連携を深め親睦を図る有意義な会合です。

当日、懇話会の司会は秋本 進専務理事、開会の辞は相原元一副会長、当番校の大館 満会長の挨拶で開会されました。

来賓挨拶は公務で欠席された日本歯科医師会高橋英登会長の挨拶を、蓮池芳浩日本歯科医師会副会長が代読されました。

挨拶の中で、「若い人が歯科界に入って来ない、歯科界が疲弊している、歯科医師の社会的な評価をもっと上げていく必要がある」と話されました。日本歯科医師会連盟太田謙司会長からは、日頃からの連盟活動への理解と協力に謝辞を述べられ、次期参議院選挙での候補者の上位当選を目指す決意に協力を求められました。



神奈川県歯科医師会守屋義雄会長、神奈川県歯科大学鹿島 勇理事長からも挨拶をいただきました。

会合は懇話会と懇親会からなり、懇話会はメインテーマ”～同窓会でのダイバーシティ（多様性）へ対応～”について各校から提出された事前アンケートに基づいて大館 満会長より報告があり、活発な意見交換が行われました。

このテーマに関連して著名な女流尺八奏者である辻本好美氏からの講演もあり、多様性についての議論の中で大いに参考になりました。

懇話会は協議として次々回当番校を選出し、次回の当番校の挨拶、閉会の辞を小野秀樹副会長が行ないました。

懇親会は会場を移動して、懇話会で講演された辻本好美氏によるコンサートから始まり、しばし、その音色に魅了されました。

司会是高橋 朗常務理事、開会の辞を山口幸一副会長、当番校大館 満会長の挨拶に続いて来賓挨拶を横浜市歯科医師会吉田直人会長、横須賀市歯科医師会半澤栄一会長よりいただきました。乾杯の音頭を神奈川県歯科大学櫻井 孝学長にいただいて、懇親会は進行されました。

懇親会は各テーブルごとに分かれての着席でしたが、それぞれに親睦を深めました。

神奈川県内の酒造メーカーのお酒のコーナーが設けられ、お酒好きの方々に好評を得て、お土産のお酒と共に葉山日影茶屋のケーキも喜ばれていました。窓からの美しい夜景も懇親会を盛り上げたようです。

閉会の辞は金子守男副会長が務めて、懇親会も無事に終了いたしました。

最後に運営に携わった役員の方々と事務局員に感謝申し上げます。



令和6年7月から12月までの会務報告

月	日	曜	行 事	出席者・講師
令和6年	6	土	北海道地区連合会総会 長野県支部総会・学術講演会	大館会長 桂副会長、講師：有賀 正治先生（24 回生）
	7月	7	日	令和6年度第1回予算決算特別委員会 令和6年度第1回会則・規則改正特別委員会 埼玉県支部総会・学術講演会
13		土	山梨県支部学術講演会 鶴見大学歯学部同窓会との二校合同役員会	講師：児玉 利朗先生（14 回生） 大館会長、山口・金子副会長、秋本専務理事
19		金	第3回情報処理部 Zoom 練習会	
20		土	第2回理事会（Web 会議）	
23		火	第71回全歯懇第3回実行委員会（Web 会議）	
28		日	第4回学術委員会（Web 会議） 神奈川歯科大学同窓会学術講演会 - Back to the basic - これからの歯科医療における協働アプローチが国民の健康を増進する -咬合の重要性、しかし咬合違和感症候群の存在、3D プリント義歯への期待、食事指導の一般化-	大館会長、講師：玉置 勝司先生
8月		3	土	宮崎県支部総会・学術講演会
	11	日	第71回全歯懇第4回実行委員会（現地見学）	
	17	土	鹿児島県支部総会・学術講演会	講師：向井 義晴教授（19 回生）
	24	土	第40回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会 大阪府支部学術講演会（夏期 OB 交流会）	山中常務、別部・前畑理事 講師：濱田 信城教授（19 回生）
	27	火	第5回学術委員会（Web 会議）	
	31	土	一般社団法人 東京医科歯科大学歯科同窓会 創立 90 周年記念式典・講演・祝宴	大館会長
9月	7	土	第19回四国地区連合会、徳島県支部学術講演会	来賓：鹿島理事長、櫻井学長 大館会長、講師：石井 信之先生（14 回生）
	8	日	神奈川歯科大学同窓会学術講演会 - Back to the basi - 「これからの欠損補綴を考える～無歯顎症例を中心に～」	講師：奥野 幾久先生
	15	日	はぎわら鉄也出陣式	大川原理事
	19	木	学会理事との連絡協議会	大館会長、秋本専務、山中常務、別部・前畑理事 （学術委員会）藤野委員長、三橋・大橋副委員長
	20	金	第4回情報処理部 Zoom 練習会	
	21	土	第3回常務連絡会（Web 会議） 第71回全歯懇 第5回実行委員会（Web 会議）	
	28	土	東北地区連合会総会・学術講演会 北海道大学歯学部同窓会創立50周年記念講演会・記念式典・祝賀会	嶋中副会長、講師：二瓶 智太郎教授（22 回生） 大館会長、（中村北海道支部支部長）
10月	11	金	第6回学術委員会（Web 会議）	
	12	土	6 回生クラス会 4 回生クラス会	
	19	土	九州地区連合会沖縄大会 懇親会 高知県支部学術講演会	来賓：櫻井学長、平良副会長、奥村監事 講師：山本 哲也先生
	26	土	第2回監事会 第3回理事会 第71回全歯懇 第6回実行委員会	
	28	月	第7回学術委員会（Web 会議）	
	11月	3	日	神奈川歯科大学同窓会本部・岡山県支部共催学術講演会 岡山県支部総会・学術講演会
9		土	東京都支部学術講演会 群馬県支部学術講演会	講師：河奈 裕正教授 講師：齋藤 正寛先生（20 回生）
10		日	神奈川歯科大学同窓会学術講演会 - Back to the basic - Posterior Adhesive Restorations A to Z - Direct から Overlay Restoration まで - 東海地区連合会総会・愛知県支部学術講演会	山口副会長、講師：青島 徹児先生 小野副会長、講師：古橋 明文先生
16		土	12 校会議ならびに時局講演会 第71回全歯懇 第7回実行委員会	大館会長、桂・金子副会長、秋本専務
17		日	第71回全国歯科大学同窓・校友会懇話会	
18		月	近北地区連合会総会代表者会議	大館会長、山田副会長
22		金	第8回学術委員会（Web 会議）	
22		金	第3回広報委員会（Web 会議）	
30		土	第4回理事会（Web 会議） 第71回全歯懇 第8回実行委員会	
12月		1	日	第2回予算決算特別委員会 第2回会則・規則改正特別委員会 令和6年度第1回表彰選考委員会
	6	金	第4回広報委員会（Web 会議）	
	14	土	横地 千仞先生お別れ会	大館会長
	19	木	学会代議員選考委員会（ハイブリッド会議）	大館会長

辺見浩一先生講演会報告記

藤野拓郎 (学術委員会委員長)



2024年5月12日、神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニックにて、恵比寿ヘンミデンタルオフィス院長の辺見浩一先生をお招きし、「深在性う蝕の生活歯髄療法を成功に導くために-The Latest Vital Pulp Therapy-」と題するハイブリッド学術講演会が開催された。講演ではまず、象牙質と歯髄を発生学的、組織学的、機能的、臨床的に同一の組織である「象牙質・歯髄複合体」という概念が紹介された。

この概念に基づき、深在性う蝕の治療においては、象牙質のみならず歯髄への影響も考慮することが重要であると強調された。続いて、診査・診断、う蝕の除去方法、露髄の有無に基づいた「深在性う蝕の治療選択のデシジョンツリー」が提案された。講演では、実際の症例を基に、各治療ステップにおける具体的な方法と注意点が詳しく解説されました。使用器具や術式だけでなく、患者説明についても言及され、患者さんに寄り添った歯髄保存の重要性が強調された。

近年、AAE（アメリカ歯内療法学会）とESE（ヨーロッパ歯内療法学会）がそれぞれVPTに関するポジショステートメントを発表し、世界中でVPTのあり方が議論されています。辺見先生は、これらの動向を踏まえ、VPTの重要性と今後の展望について自身の考えを述べられた。講演後の質疑応答では、会場およびオンライン参加者から多くの質問が寄せられ、今回の講演を通して、深在性う蝕に対する理解を深め、VPTに対する意識を高めたことが伺えた。



前列右から3番目 講師 辺見浩一先生

玉置勝司先生講演会報告記

前畑 香 (学術担当理事)

2024年7月28日、神奈川県立神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニックにて、神奈川歯科大学特任教授 玉置勝司先生をお招きし、『これからの歯科医療における協働アプローチが国民の健康を増進する -咬合の重要性、しかし咬合違和感症候群の存在、3Dプリント義歯への期待、食事指導の一般化-』と題し、学術講演会が行われました。大館 満会長の開会挨拶をかわきりに、6時間のご講演が行われ、72名（対面47名、WEB25名）が受講しました。玉置先生は本学教授とし咬合学、歯科心身医学（咬合違和感症候群）、デジタル補綴学（デジタル義歯）、高齢者歯科学（オーラルフレイルや口腔機能低下症）等の幅広い分野でのご研究されていました。そのため、本講演内容は、玉置先生のご研究されていた内容を基とした臨床応用をご教示くださり、集大成と言うべき内容でした。新しいトピックスの3Dプリント義歯開発研究を示され、Dr.Gysi以来100年も同じ治療法で成書に示されている総義歯製作に関しデジタル・イノベーションすることが必要であることを問題提起すると共に、研究開発したフルアーチ連結型人工歯を使った3Dプリント義歯製作を紹介し、歯科における“DX (Digital

Transformation) の必要性を示されました。最後の質疑応答では、大館 満会長、歯科心身医学 和気裕之先生そして管理栄養士 尾関 麻衣子先生を加え、意見交換されました。咬合、咬合違和感症候群、3Dプリント義歯そして食事指導、全ての講演内容は、国民の健康寿命延伸を目的とし、臨床に大きく役立つ有意義な講演会でありました。



前列右2番目 講師 玉置勝司先生 前列左2番目 会長 大館 満先生



向かって右 講師 玉置勝司先生

奥野幾久先生講演会報告記

前畑 香 (学術担当理事)

2024年9月8日、神奈川歯科大学附属横浜研修センター・横浜クリニックにて、大阪府ご開業、大阪大学歯学部顎口腔機能再建学講座臨床准教授 奥野幾久先生をお招きし、『これからの欠損補綴を考える ～無歯顎症例を中心に～』と題し、学術講演会が行われました。山中秀起学術担当常務理事の開会挨拶をかわきりに、6時間のご講演が行われ、54名（対面26名、WEB28名）が受講しました。奥野先生は、現在の少子高齢化社会や義歯治療の需要を解説され、無歯顎補綴治療（Bone Anchored Bridge (BAB)、Complete Denture (CP)、Implant Over Denture (IOD)）にあたり、患者の要望に応えることを重要視し、患者の補綴治療後における口腔内長期安定、現在の全身状態、治療期間と治療費用等を考慮した治療計画を立案することを提案されました。本講演では、CPとIODに焦点をあてご教授していただきました。

Complete Denture (CP、以下CP) は、シリコーン印象材を用いた咬座印象（機能印象）による全部床義歯製作法と複製義歯（コピーデンチャー）を用いた全部床義歯製作法を示され、通法（概形印象から製作した個人トレーにより精密印象採得および作業用模型製作を行い、咬合採得および人工歯排列した全部床義歯製作法）よりも、垂直的および水平的顎間関係や義歯床形態を考慮した全部床義歯製作を行うことができ



左手 講師 奥野幾久先生と学術委員副委員長 三橋 晃先生と示されました。Implant Over Denture (IOD、以下IOD) は、歯の代わりにインプラントを利用することにより、義歯の維持安定が困難な症例に関して利便性がある一方で、アタッチメントの選択と義歯の補強構造を考慮することを示されました。CPにしてもIODにしても、口腔内を長期安定させ咬合関係の変化が少ない義歯製作を目指した治療計画および治療が必要であり、そして何よりも患者に寄り添う義歯治療を行うことが重要であることを学びました。有意義な講演会でありました。



前列真ん中 講師 奥野幾久先生



よ坊さん

第126回 北海道地区連合会 学術講演会報告

原田尚也 (9回生・北海道支部学術部長)

日 時：令和6年10月26日(土曜日)16時～18時
 場 所：北海道歯科医師会館 第三会議室
 演 者：札幌市厚別区第1地域包括支援センター
 早坂 みどり センター長
 演 題：「知っておきたい介護の基礎知識」

上記の学術講演会が開催された。今回の講師にはセンター長の早坂 みどり氏(看護師・保健師)をお招きし、中村順三会長の挨拶の後、Q&Aのセミナー形式で「介護保険とは?地域包括支援センター(以下、包括と略す)とは?介護の疑問」などディスカッションした。同窓会はもちろん、札幌歯科医師会でも包括スタッフが講演したことは今までに無く、今後我々が社会対応を考えるうえでも重要な講演となった。

包括は「社会福祉士、保健師および主任ケアマネジャー」で構成され、地域住民の困りごとに広く対応している。介護保険は複雑とのことで介護支援は早期対応が重要。その相談に行く目安は、入浴、排泄および食事のどれか一つでも障害が出てきた時。

以下、介護施設には「公的施設」と「民間施設」がありその一部を紹介する。いずれもケアマネジャーにしっかりフォローしてもらうことが重要。

「公的施設」：**老健**(介護老人保険施設)・在宅への復帰を目標にする施設で、要介護1～5で入所可。**特養**(特別養護老人ホーム)・要介護3以上で入所可。ドクター、看護師が往診に来ており看取りもする。看護師は日勤。



セミナー形式でほぼ全員から質疑があった

「民間施設」：**グループホーム**(認知症対応型共同生活介護施設)・認知症の人が入所可。家事は職員と一緒にできる。個室であり5～9人の少人数で共同生活を送る。**サ高住**(サービス付き高齢者向け住宅)・比較的元気な要支援1～2や要介護1～2の人を中心に入所可。高齢者の住まいの場である賃貸住宅。**有料老人ホーム**・排泄、入浴の介護や食事の介護提供を行う。日常生活に必要な便宜を供与する。

施設選び：多いと判断に迷うため見学施設は2～3か所に絞る。「在宅紹介会社」は介護施設のデータを多く持っており無料相談できるので利用してほしい。

講演中多くの会員から、料金、入所要件および家政婦の活用や看取りなどの質疑があり、早坂講師の「困ったときには包括へ」という言葉が印象的だった。我々歯科医師も地域の一員として役立つ知識を得ることができた講演であった。



早坂 みどり講師を囲んで



令和6年度神奈川歯科大学同窓会東北地区連合会

柄本俊一（26回生・青森県支部専務理事）

2024年9月28日(土)にアップルパレス青森(青森市)を会場に東北地区連合会が開催されましたのでご報告いたします。

昨年(宮城県)と一昨年(岩手県)は、規模を縮小しての開催でしたが、本年度は、大学より二瓶 智太郎先生(歯科診療支援学講座 クリニカル・バイオマテリアル学分野 教授・22回生)と同窓会本部より嶋中繁樹副会長(青森県支部・8回生)、福士賢治様(青森県歯科医師会 会長)、秋田県を除く東北5県より多くの同窓生をお迎えし総勢30名の皆さまにご出席いただき盛大に開催されました。

二瓶 智太郎教授には、最近の歯冠修復材料と接着材料のマッチングについて、丁寧に長時間に渡りご講演いただきました。また、最近の母校の様子についてご説明いただきました。

総会では、来賓の嶋中繁樹副会長にご挨拶いただき、佐藤 誠先生(同窓会常務理事 山形県支部・5回生)に同窓会の動きについてご説明いただきました。協議では、①秋田県支部の現状についてと②新入会員を増やす手段の2点について活発に意見交換しました。次年度は、福島県支部が開催担当となることが決まりました。9月下旬に郡山市にて開催されるそうです。

懇親会は、青森県の郷土料理と地酒を肴に親睦を深め、最後は全員で校歌を斉唱し盛会となりました。

東北の同窓生が年に一度集まり交流を深めることで、母校と同窓会の発展に寄与し、同窓会を大切に思う気持ちが後輩に継承されることにつながれば幸いです。

開催にあたり、同窓会事務局の皆さまのお力をお借りしましたこと大変ありがたく感じております。



令和6年度 神奈川歯科大学同窓会東北地区連合会総会



神奈川歯科大学同窓会東海地区連合会総会 および学術講演会

菱川秀樹（18回生・愛知県支部専務理事）



菱川秀樹先生

2024年11月10日（日）名古屋名鉄グランドホテルにおいて東海地区連合会総会および学術講演会が開催されました。愛知県支部15名、静岡県支部11名、三重県支部4名の合計30名の出席でした。

コロナ禍で順延となっていた久しぶりの顔を合わせての総会で愛知県支部 浅井康年支部長、静岡県支部 川田和重支部長、三重県支部 浅野年嗣支部長各先生より各支部での動静が報告されました。同窓会本部から同窓会副会長 小野秀樹先生からの祝辞を頂き、静岡県支部により会計報告がなされました。

続いて、愛知医科大学口腔外科講座 准教授 古橋明文先生（日本睡眠歯科学会認定医・指導医）による「睡眠時無呼吸症候群の開業医での臨床」という演題にて講演が行われました。

睡眠時無呼吸症候群の治療に際しては、全身を診ることが大切であり、また治療に際しての耳鼻科での評価や肥満防止の観点から栄養士さんとの連携が

重要であることなど多岐にわたる多職種連携は再認識することが多くもっと問診での聞き取りを多岐にわたり実施して臨むことが重要であり、臨床においては下顎前方位の決定法やCPAPなどとスプリントでの治療の使い分けやスプリントの作成法や治療の実際を学び、無呼吸の回数が20回以下の患者さんには効果が出やすいと学びました。日頃の臨床においてとても有意義な講演でありました。数多くの先生からも質疑が出され、皆さん真剣に聞き入っていることがわかりました。

その後の懇親会では本部同窓会からの出席を賜った小野秀樹先生の乾杯の発声により開会となり、本学での動静や今後のビジョンについてお話がなされ、卒業生の先生方も聞き入っておられました。また久々の同期生や先輩後輩との話はずみ会場は大いに盛り上がっていました。今後の連合会の課題や次期の開催についても話し合いがなされ当番県を配慮しながら開催する旨を決定しました。まだまだ話がつきない様子でしたが、盛況のうちに閉会となりました。





よ坊さん

第19回神奈川歯科大学同窓会四国地区連合会 開催報告

和田圭司 (18回生・徳島県支部支部長)

徳島県主幹での実施が9年ぶりとなりました第19回神奈川歯科大学同窓会四国地区連合会を、2024年9月8日(土)午後3時より、徳島市のザ・グランドパレス 徳島にて開催しました。

四国4県の会員26名が徳島に集い、大学より鹿島勇理事長と櫻井孝学長、同窓会本部より大館満同窓会長にご臨席賜りました。

また、今年3月に退官された徳島ご出身の石井信之先生に、歯内療法を専門とされたご自身の半生を振り返るような学術講演をお願いしました。会場内にエンドモーターのデモコーナーも設けられ、皆さん、熱心に話を聞いておられたのが印象的でした。

総会ではまず、鹿島理事長に、本大学が21世紀に経験することとなった困難な状況と、そのトンネルを抜けるために取られた方策、そして、明るい未来へ向かう道筋を示すロードマップについてご報告いただきました。とあるIT企業の創業者の言葉、「生きていれば、突然レンガで頭を酷く殴られるような出来事が起きるが、それも患者には必要な良薬だったんだ」との言葉を思い出しました。

続いて、櫻井学長から入試制度の改革や入学者・在校生の状況について、ご報告いただきました。

大学の校舎など施設も大きくリノベーションされて、とても快適に学べる素晴らしい環境が整えられており、時代の流れを感じると共に、一方では、自分の故郷が失われていくような一抹の寂しさを覚えました。

懇親会では、徳島県歯科医師会の松本 侯会長と徳島市歯科医師会の斎賀明彦会長にもご臨席賜り、ご挨拶いただきました。和やかな交流は二次会にも引き継がれて、徳島の夜は更けていったのでした。

会員の高齢化と新規入会者の減少に伴い、同窓会活動をいかに続けていけるかが大きな課題となっていた今回の連合会。

できる限り経費削減し(余興の阿波踊り中止は断腸の思い)、無事、2年後開催の高知県へバトンを渡すことができ、一同、今はホッと安堵しております。



第19回神奈川歯科大学同窓会四国地区連合会 2024年9月7日 於 ザ・グランドパレス



福島県支部

令和5年度臨時総会ならびに学術講演会・新年会

令和6年度定時総会ならびに学術講演会

高橋 暁 (37 回生・福島県支部)

羽生和弘 (22 回生・福島県支部)

令和5年度臨時総会ならびに学術講演会・新年会

2024年3月2日(土)16時から母畑温泉八幡屋(石川郡石川町)にて県北支部主催、会員出席16人により、令和5年度臨時総会および学術講演会・新年会が開催された。

佐藤 宏副支部長司会進行のもと総会が開会し、桑名利直支部長が議長に選出され議事が行われた。報告では東北地区連合会の報告と最近の神奈川歯科大学のキャンパス内の様子を動画視聴し思い出を懐古した。つづいて議案では、次期執行部の役員選出が行われ、次期支部長から今後の執行部の体制について提案があった。これまでの各方部持ち回り制を廃止し、支部全体で運営を分掌すること。支部長は任期を3年とし各方部から順番に選出されるものとするというものであり議案は可決された。協議へと移り、会員の旅行積立金について話し合われた。昨年定時総会で話し合われた会員の高齢化、会員不足、参加者数の減少等を考慮して旅行会は存続し、参加者が各々出費していくなど出席者全員の意見を聞きながら協議を進めた。

学術講演会では、会員の平山歯科矯正歯科医院院長の窪田道男先生から「私の臨床報告30年 Periodontics & Orthodontics 最新の知見も含めて」との演題で講演をいただいた。貴重な症例と最新情報交えた非常に興味深く有益な内容となっており、また機知に富んだ話し方でとても楽しくあっという間の時間であった。集合写真の撮影後、新年会へと移り盛会のうちに終了した。



2024年3月2日 新年会

令和6年度定時総会ならびに学術講演会

2024年6月22日(土)16時30分より、郡山市市民交流プラザにて、会員18人出席により、定時総会・学術講演会が開催された。

はじめに、故塩田博文先生(11回卒)を偲び黙祷を捧げた後、野口和広副支部長兼専務による司会進行のもと、鈴木啓之支部長あいさつに続き、審議に移った。議案第2号を除き原案の通り可決承認。令和6年度予算案については、東北地区連合会において出席人数の変更や、次年度主管を務める等の理由から支出の一部を変更すると会計小針啓司理事から提案があり、訂正案(総額は原案のまま変更なし)を次回の臨時総会に提出することで承認された。その他にて山田良広教授による入学者数の変化や学内施設の変遷等について本学の現状報告があり、総会は終了した。

引き続き、法医学講座 歯科法医学分野 分野長・教授 山田良広教授による学術講演会に移り、「災害時に歯科医師ができること～能登半島地震～」と題し、大規模災害および異常死における身元確認作業を中心に講演いただいた。私たちができる診療外での社会貢献と、カルテ記載の正確性をあらためて確認した実りある講演となった。その後の懇親会では山田教授の同期や学年の近い支部会員も多く、思い出話に花を咲かせ盛会のうちに終了した。



2024年6月22日 定時総会



よ坊さん

山形県支部社保講習会・総会開催

加藤克彦（11回生・山形県支部支部長）



加藤克彦先生

2024年5月25日(土)午後5時半より鶴岡市湯野浜「遊水亭いさごや」にて、令和6年度神奈川歯科大学同窓会山形県支部社保講習会・総会がコロナ禍を経て4年ぶりに開催された。

まず社会保険講習会が行われた。講師として、佐藤 誠君（5回生）をお招きして行われた。出席者は常世 恵美子君（7回生）、安達節洋君（10回生）、佐藤寿之君（13回生）、富樫 雅比古君（14回生）、星川 知佳子君（14回生）、熊沢正博君（15回生）、結城光隆君（30回生）、加藤克彦（11回生）、であった。

社会保険講習会では、今回の改訂で初めて導入されたベースアップ評価料に触れながら施設基準を中心にお話をいただいた。佐藤講師によると、ジェネリック処方 of 加算が算定しやすいとして資料もいただいた。総会での報告として母校の代議員会も再開、また母校の改革、さらに昨秋の石黒 豊君（7回生）の叙勲も披露された。令和5年度決算案・令和6年度予算案も満場一致で採決された。懇親会では庄内浜の海の味覚を存分に味わい、久しぶりの集まりに話が尽きなかった。支部会員16人のうち8名が70歳以上であり、高齢化が止まらない、新入会員の入会を切望している。



4年ぶりの総会に笑顔

同窓便り



よ坊さん

埼玉県支部同窓会（三笠会）総会・学術講演会

北川 純（16 回生・埼玉県支部）

2024年7月7日（日）午前10時より、大宮ソニックスティー会議室501にて、神奈川歯科大学同窓会埼玉県支部（三笠会）総会ならびに学術講演会が開催されました。今回は、Zoomを使用せず、5年ぶりにリアルでの開催となりました。

総会は、平澤克也専務理事の司会のもと、高橋 朗会長から諸報告が行われた後、議長として渋谷孝順先生が選出され、議事が進行されました（出席者18名、委任状41名）。令和5年度の事業報告・収支決算報告および令和6年度の事業計画・予算案については、平澤専務理事と大島 大会計理事による説明があり、会員の可決承認を得て終了しました。その後、新入会員の紹介が行われました。

総会に続いて、北川 純学術理事の司会により、学

術講演会が開始されました。神奈川歯科大学同窓（14回生）で、神奈川歯科大学附属歯科・健脳クリニック日本橋前院長で神奈川歯科大学特任教授の児玉利朗先生を講師に招き、「歯周基本治療から再生療法まで」という演題でご講演いただきました（写真1）。歯周病治療については、基本治療として炎症の除去や咬合性外傷の診断、必要に応じて歯周外科など、的確な治療計画が求められます。また、歯周病の新分類として、ステージとグレードの診断フレームワークが提唱されています（画像2、3）。患者自身のセルフコントロールに加え、バイオフィーム除去や咬合の力のコントロール、再評価およびメンテナンスの重要性が強調されました。特に、歯周支持組織の高度な破壊を伴う症例では、外傷性因子との関連が密に認められ、外科



写真1 児玉先生

歯周炎のステージ	ステージI	ステージII	ステージIII	ステージIV
歯周部の最も大きなCAL	1-2mm	3-4mm	≥5mm	≥5mm
重症度	X線画像上の骨吸収 歯根長1/3未満 (<15%)	歯根長1/3未満 (15-33%)	歯根長1/3を超える	歯根長1/3を超える
歯の喪失	歯周炎による喪失なし	歯周炎による喪失なし	歯周炎により4本以内の喪失	歯周炎により5本以上の喪失
複雑度	局所	局所	ステージIIIに加えて： プロービングデプス6mm以上 3mm以上の垂直性骨吸収 根分枝病変2-3度 中程度の歯槽縁の欠損	ステージIIIに加えて： 複雑な口腔機能回復治療を要する以下の状態 咀嚼機能障害 二次性咬合性外傷（動揺度2度以上） 重度の歯槽縁欠損 咬合崩壊・歯の移動・フレアアウト 20本以下の歯（10対合歯）の残存
範囲と分布	ステージに記述を加える	それぞれのステージにおいて揺り子を、限局型（罹患歯が30%未満）、広汎型（同30%以上）、または大白歯/切歯パターンかを記載する		

画像3 歯周病のステージ

歯周病の新分類

アメリカ歯周病学会(AAP)・ヨーロッパ歯周病連盟(EFP)により公表された歯周病の新分類(2018年6月)

↓

歯周病の新分類に対する日本歯周病学会の対応

ステージとグレードの診断のフレームワーク

- 歯周炎の重症度・複雑度が4つのステージ(ステージ1が最も軽症、ステージ4が最も重症)
- 歯周炎の進行リスクが3つのグレード(グレードAが最も低いリスク、グレードCが最も高いリスク)グレードの決定に関してリスクファクターを考慮
- 「限局型か広汎型か」「慢性歯周炎か侵襲性歯周炎か」その次にステージ、最後にグレードを記載し

例: 広汎型 慢性歯周炎 ステージIII グレードB
限局型 侵襲性歯周炎 ステージIV グレードC

認定医、専門医、指導医、ならびに認定歯科衛生士の申請、令和3年度(2021)より本格実施

画像2 歯周病の新分類

歯周病における再生療法

Regenerative therapy

骨移植
(人工骨、自家骨、DFDBA,βTCP)

GTR法1982年に概念(1992年非吸収性、1995年吸収性)

エムドゲイン(2002年)

リグロス(2016年)

画像4 歯周再生療法

手術では骨欠損形態に応じた歯周組織の再生を目的とした手術法の選択が求められます。

この講演では、GTR法やリグロスを用いた再生療法
の長期症例が提示され（画像4）、治療を成功に導くためには、手術環境としての炎症（歯周病関連細菌）の抑制、血液供給、ティッシュマネージメント、生体材料の選択と応用を考慮する必要があるとされました。例えば、骨の欠損状態によっては、移植材を用いるよりもボーンスウェーピング法とGTRメンブレ

ンを併用する方法が有効であることが示されました。

診断とプラークコントロールという基本に立ち返り、外科治療における切開線の入れ方や高度なプラスチックサージェリーに至るまで、内容の濃い講演が行われました。

講演会終了後の児玉講師を囲んでの懇親会では、埼玉県歯科医師会大島修一会長と桑原 栄専務理事をお迎えしました。（写真5）久々のリアル開催に参加者は、大いに懇親を深め、満足された様子でした。



総会・学術講演会后 集合写真



写真5 懇親会



湖神会 令和6年度総会開催

中川 陽一郎 (25 回生・滋賀県支部)

未だ残暑厳しき折、「暑さ寒さも彼岸まで」そんな言葉通り、雨の影響もあり県内の最高気温が30度を下回る秋分の日(9月22日(日))正午12時、近江八幡市 日本料理 八万ぼりにて神奈川歯科大学同窓会滋賀県支部『湖神会』の総会が2年ぶりに開催された。

始めに、金田成煥湖神会会長が母校の報告、さらに、大音篤之庶務会計理事により会計報告がなされた。総会后、数年ぶり出席の白瀬常博先生の乾杯により懇親会がスタートした。各会員の近況報告、会員それぞれ年代は違いますが、横須賀で過ごした懐かしい思い出を語り合った一日でした。今回の参加者は9名と少し寂しい人数でしたので次回総会は2025年10月4日(土)を予定しております。滋賀県の同窓生の先生方ご参加宜しくお願い致します。(他県からの飛び入り参加歓迎)



支部長を囲んで





よ坊さん

令和6年大阪府支部総会ならびに夏季学術講演会

大塚 卓 (20 回生・大阪府支部支部長)



大塚 卓先生

2024年4月6日に大阪道頓堀ホテルにて大阪府支部総会を行いました。

この決議が大阪府支部同窓会活動のさらなる充実につながり、同窓生にとって意義あるものとなるように今後の運営においてしっかりと活かしてまいります。引き続きご支援、ご指導よろしくお願い申し上げます。

2024年8月24日に大阪道頓堀ホテルにて神奈川県歯科大学歯学部口腔細菌学講座教授 浜田信城先生をお招きし、「口腔感染症と静菌義歯について」をテーマに夏季学術講演会を開催しました。19名の先生方の出席を賜り、同窓会ならではのアットホームな雰囲気でも有意義な時間を過ごせました。また、講演中、大学の風景写真などで懐かしい日々を思い出させていただきました。これからの教授の益々のご活躍をお祈り申し上げます。



大阪府支部総会



夏季学術講演会





よ坊さん

令和5年度通常総会・学術講演会・懇親会

河上 大 (32 回生・広島県支部広報部)

2024年6月8日(土)に「ANAクラウンプラザホテル広島」において、令和5年度通常総会・学術講演会・懇親会が開催された。午後5時から山口 真一郎専務理事の司会のもと西谷 満会長の挨拶の後、議長に大保順一氏が選出され令和5年度会務概況報告、各部事業報告が行われた。議事は全て可決承認され、歌野原 之副会長の閉会の辞にて総会は終了した。

学術講演会は玉山廣忠副会長の司会のもと、日本鋼管福山病院歯科部長 永原隆吉先生(35回生)をお招きして「日常に潜む病変を再考する～歯周疾患編～」と題して講演していただいた。開業医にはとても興味深い内容であり、臨床のケースを多数説明していただき、出席者から大変好評であった。

引き続き、懇親会が開催され山口専務理事の司会のもと、西谷会長の挨拶、続いて大石正臣氏からお言葉をいただいた。宮木克章先生の乾杯の発声により開宴となり、同窓会会員は楽しいひとときを過ごした。当会恒例の校歌大合唱も横村康彦氏のタクトに合わせ、



講師の永原隆吉先生

一同笑顔でリズムに乗っていた。

最後に玉山副会長により、2024年2月に開催された本校での代議員会の報告の後、閉会の挨拶にて本日の全日程を盛会のうちに終了した。





よ坊さん

高知県支部 学術講演会

山下善祐 (34回生・高知県支部)

2024年10月19日(土)高知大学医学部歯科口腔外科教授、山本哲也先生を講師に迎え、19時～20時マルミ歯科商店高知県支部4Fにて、下顎智歯抜歯における偶発症について「下顎智歯抜歯後の片側性の麻痺と知覚鈍麻、味覚異常への対応」と題した講演会が行われた。

山本教授曰く、下顎智歯埋伏抜歯におけるコツは、「術野は広く」「骨を十分に開削する」「力で抜かない」の3つである、との事。口腔内に知覚鈍麻や麻痺といった症状がある場合は、院内で解決しようとはせずに、

出来れば早急に口腔外科に紹介した方がよい。顔面神経麻痺、開口障害及び嚥下障害を訴える患者さんが、最終的にギラン・バレー症候群と診断された。左下7部の疼痛で来院していた患者が、痛みが治らずに左下7を抜歯、それでも痛みが治らずに、次いで、左下6、左下5と抜歯、ついには下顎骨部分切除にまで至った顎骨骨髓炎。抜歯窩が腐骨により完治せず、下顎骨部分切除となった症例。など、内容の濃い講演となった。

その後は、居酒屋柳憲にて懇親会が開かれ、尽きない懇親は夜中まで続いた。



山本哲也教授を囲んで



4回生クラス会

相原元一（4回生）

令和6年（2024年）10月12日（土）午後5時より、横浜崎陽軒本店において4回生卒業50年クラス会を開催いたしました。全国各地より53名が集まり、賑やかな会となりました。

従来、4回生は3～4年間隔でクラス会を開催してきましたが、コロナ流行の影響を受け約10年ぶりのクラス会となりました。

卒業50年となりますと当然、風貌に変化がありました。体調によっては気力にも変化が見られますが、お互いに「おい！おまえ」呼ばわりできるのは同級生ならではの楽しみ、気楽で楽しい2時間を過ごしました。そして、2次会の後、三々五々横浜の夜に散っていきました。

今回、同窓会よりクラス会への助成金をいただき、余裕をもって会を開催でき大変助かりました。ここに感謝とともにクラス会の報告とさせていただきます。



《 クラス会助成について・令和7年度 》

- 10周年単位のクラス会、卒業6周年のクラス会に助成金を支給します。
- 令和7年度は7回生、17回生、27回生、37回生、47回生と卒業5周年に該当する52回生が対象となります。（いずれも前後1年の会期も可）
- 助成金額は、該当するクラス会1件 10万円で用途は自由です。
- 助成クラス会の該当要件があります。詳しくは事務局までお問い合わせください。
- 同窓会に提出する書類とは別に、同窓会会報に掲載する原稿を別途ご提出ください。（集合写真1枚等添付）

6回生クラス会

西村吉行（6回生）

2024年10月11日（金）6時よりホテル日航大阪において卒後50周年記念クラス会を開催しました。

全国各地より33名が集まり和やかなクラス会となりました。懇親会が始まり美味しい料理にお酒も入り、各テーブルでは大学時代の懐かしい思い出話で盛り上がりました。中には50年ぶりの顔合わせに「あんたはだーれ？」状態に。やがてお名前当てクイズがあちこちで笑い声の中で始まっていました。

姿形は変われども若かった横須賀青春の記憶を思い出すのにそれほど時間がかかりません。昨日食べた食事は思い出せないというのに。

懇親会最後は皆で肩を組んで校歌「紫紺の海」の大合唱。何故か2番の歌詞は急に出て来ず…はいそれまでよ。殆どが後期高齢者ではそれで十分ご立派。懇親会に続く2次会には何と全員が参加、更に収集のつかないハイテンションの方が続出。話しは尽きず皆、去りがたし。あっという間に終演の時間が来ました。また皆で会えるのはいつの日か、そんな思いの中、次回の再開を楽しみに笑顔の散会となりました。今回同窓会よりクラス会への暖かい応援の助成金を頂きました事に深く感謝申し上げ、クラス会の報告に代えさせて頂きます。ありがとうございました



九 期 会

加来 めぐみ (9回生)

2024年10月19日(土)午後6時より、「横浜ベイホテル東急」に於いて9回生のクラス会が開催されました。それに先立ち、午後1時から新装された大学の見学ツアーを企画し、6名の参加がありました。モダンなキャンパスセンター、最新設備の整った新病院、資料館では解剖学の教授をされていた横地千仞先生の芸術的作品に魅了されました。私達が通学していた頃の面影はなくなっていました、懐かしい横須賀を暫し味わいました。休日にも拘わらず、ツアーの案内をして下さった大学企画部と総医局長に心より感謝申し上げます。昨年、現役組がめでたく古希を迎え、前期高齢者になった事がきっかけとなりクラス会の開催を企画しましたので、横浜での宴席は、直前の体調不良によるキャンセルを憂慮しておりましたが、杞憂に終わり、全国から50数名の参加があり盛会でした。久々の再会で、各々変貌を遂げている事も考えられましたので、急遽、名札を作ったのは大正解でしたが、受付で名札を渡す時、お互いに暫し見つめ合い、沈黙の時間ができた時は冷や汗でした。「後期高齢者になった」という最年長者による乾杯の音頭と共に宴が始まり、各テーブルにマイクを廻し全員が近況を語った中で、フレイルの話題には「高齢者あるある」で大いに盛り上がりました。宴もたけなわになり、ほろ酔いで席移動が始まると、ふらついて転ばないかと心配でした

が、耳が遠く、至近距離での会話になりお互いを支えている様子は何とも微笑ましい光景でした。そして、食後のおクスリも声をかけあい忘れずに飲んでおりました。集合写真撮影後、名残りを惜しみつつ閉会となりましたが、半数以上の方が2次会へと向かいました。横浜の夜景が見えるバーで、ジャズの生演奏をバックに「今だから話すけど」的な楽しくもほろ苦い青春の思い出話。「え〜!」「まじ〜!」「まさか〜!」感嘆詞ばかりの女子高生のような会話でせっかくのジャズが聞こえない。また、9回生同志の結婚は7組で離婚率ゼロという情報に「なんと素晴らしいことでしょう!」そして、「これからの余生をいかに楽しく生きて行くか」を真剣に語りはじめた頃、残念ながら閉店の時間となりました。締め言葉は「生きていたらまた会おう!」



10回生クラス会を開催しました

王朝駿 (10回生)

2024年10月13日、神戸の北京料理、第一樓で開催しました。コロナの影響もあって5年ぶりのクラス会で、現役世代なら古希なので、お祝いも重ねました。

当日は38名の参加者で、男性26人、女性12人です。物故者28名の黙祷の後、玉田康明先生の乾杯発声で

祝宴を開始し、高級料理とお酒を飲みながら、全員に近況などお話ししていただき、楽しく盛り上がりました。2次会もほぼ全員の参加で、イタリアンレストランバーで神戸の夜を楽しみ、ステキな思い出となるクラス会になりました。次回は3年後に行う予定です。



令和5年 秋の叙勲表章

瑞宝双光章 齋藤康裕 先生 (8回生 静岡県支部)



令和5年秋の叙勲にて 御殿場市の齋藤康裕先生(8回生)が「瑞宝双光章」を受賞されましたのでご報告いたします。

明日の口腔医療に貢献する歯科用機器・サプライ・書籍の総合商社

今日もTRADスピリットで。

大正12年の創業以来、田中歯科器械店は、
伝統を守りながらも常に環境の変化に対応し、
革新し続けることで発展してまいりました。
そのスピリットを表現するシンボルがTRAD。

Traditionを意味するだけでなく、
Tanaka Realize Advanced Dental という強い意志を表しています。
田中歯科器械店はこれからもTRADスピリットで、
国民の口腔医療に貢献してまいります。



株式会社 田中歯科器械店

- 本 社
〒102-8139 東京都千代田区富士見1-3-8
Tel 03-3230-2386(代) Fax 0120-418-550
- 神奈川支店
〒238-0004 神奈川県横須賀市小川町26-3
Tel 046-826-1640(代) Fax 0120-182-999
- 新潟支店
〒951-8151 新潟県新潟市中央区浜浦町1-41
Tel 025-267-1080(代) Fax 0120-438-020
- 日本歯科大学営業部附属病院売店
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-3-16
日本歯科大学附属病院内
Tel 03-3263-9525(代) Fax 03-3263-9553
- 日本歯科大学営業部生命歯学部売店
〒102-0071 東京都千代田区富士見1-9-20
日本歯科大学生命歯学部内
Tel 03-3265-8977(代) Fax 03-3265-0570
- 日本歯科大学新潟生命歯学部売店
〒951-8580 新潟県新潟市中央区浜浦町1-8
日本歯科大学新潟生命歯学部内
Tel 025-265-0850(代) Fax 025-265-0859
- 神奈川歯科大学営業所
〒238-0003 神奈川県横須賀市稲岡町82
神奈川歯科大学歯学部内
Tel 046-826-1441(代) Fax 046-826-1465

<http://www.tanakadental.co.jp>

神奈川歯科大学同窓会

甲種正会員各位

神奈川歯科大学同窓会

会 長 大 舘 満

令和 6 年度

神奈川歯科大学同窓会定例総会開催のお知らせ

下記により令和 6 年度神奈川歯科大学同窓会定例総会を開催いたします。お忙しい事とは存じますが、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日時：令和 7 年 2 月 15 日（土）午後 6 時（代議員会終了後）

場所：神奈川歯科大学 キャンパスセンター 2 階 多目的ホール

議事

- | | |
|----------|---|
| 第 1 号議案 | 令和 5 年度一般会計-1 歳入・歳出決算 |
| 第 2 号議案 | 令和 5 年度一般会計-2（事業運営安定化資金）歳入・歳出決算 |
| 第 3 号議案 | 令和 5 年度事業基金会計-1 歳入・歳出決算 |
| 第 4 号案 | 令和 5 年度福祉共済部会計-1 歳入・歳出決算 |
| 第 5 号議案 | 令和 5 年度福祉共済部会計-2（同窓会年金）歳入・歳出決算 |
| 第 6 号議案 | 令和 5 年度奨学金基金会計歳入・歳出決算 |
| 第 7 号議案 | 令和 5 年度前受金会計歳入・歳出決算 |
| 第 8 号議案 | 令和 5 年度神奈川歯科大学同窓会災害支援基金会計歳入・歳出決算 |
| 第 9 号議案 | 不要資産廃棄・資産目録に関する件 |
| 第 10 号議案 | 任期満了に伴う予算決算特別委員の選出に関する件 |
| 第 11 号議案 | 任期満了に伴う選挙管理委員の選出に関する件 |
| 第 12 号議案 | 令和 7 年度事業計画（案） |
| 第 13 号議案 | 令和 7 年度一般会計-1 歳入・歳出予算（案） |
| 第 14 号議案 | 令和 7 年度一般会計-2（事業運営安定化資金）歳入・歳出予算（案） |
| 第 15 号議案 | 令和 7 年度事業基金会計-1 歳入・歳出予算（案） |
| 第 16 号議案 | 令和 7 年度事業基金会計-2（創立 50 周年記念事業）歳入・歳出予算（案） |
| 第 17 号議案 | 令和 7 年度福祉共済部会計-1 歳入・歳出予算（案） |
| 第 18 号議案 | 令和 7 年度福祉共済部会計-2（同窓会年金）歳入・歳出予算（案） |
| 第 19 号議案 | 令和 7 年度奨学金基金会計歳入・歳出予算（案） |
| 第 20 号議案 | 令和 7 年度職員退職金積立会計歳入・歳出予算（案） |
| 第 21 号議案 | 令和 7 年度前受金会計歳入・歳出予算（案） |
| 第 22 号議案 | 令和 7 年度神奈川歯科大学同窓会災害支援基金会計歳入・歳出予算（案） |
| 第 23 号議案 | 特別会員の承認に関する件 |
| 第 24 号議案 | 退会者承認に関する件 |

※ 資料ご希望の方は、神奈川歯科大学同窓会 事務局までご請求ください。

令和7年1月吉日

神奈川歯科大学同窓会
会員各位

神奈川歯科大学同窓会
会長 大館 満

神奈川歯科大学同窓会

創立50周年記念式典・祝賀会開催につきまして

新春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本会活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症蔓延の影響により延期となっておりました神奈川歯科大学同窓会創立50周年記念事業につきまして、開催が5年遅れとなってしまいましたが、50年の節目として創立50周年記念として下記の要領で開催させていただきます。

参加申込、詳しい内容につきましては、次号会報、同窓会ホームページでご案内申し上げます。創立50周年記念事業の成功に向け、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

記

神奈川歯科大学同窓会創立50周年記念式典・祝賀会（仮案内）

開 催 日：令和7年10月18日（土）

受 付 開 始：午後1時30分より

式典・祝賀会：午後2時より午後8時終了予定（終了時間は変更の可能性があります）

※式典、祝賀会の他、記念講演、コンサート等を検討しております

会 場：横浜ベイホテル東急（旧パンパシフィックホテル横浜）

〒220-8543 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-7

TEL. 045-682-2222（代表）

会 費：会員1名様 15,000円（事前申込制）

※翌日、令和7年10月19日（日）創立50周年記念学術講演会を
横浜研修センターにて開催いたします。

【お問い合わせ先】

神奈川歯科大学同窓会事務局

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町82番地

TEL. 046-825-0524 / FAX. 046-822-3538

E-mail: ob-jimu@kdu.ac.jp

新規・乙種（1）会員の届出

甲種正会員の配偶者あるいは直系親族（甲種正会員1名につき乙種正会員は1名まで）に該当する方が届けを出すことで乙種での入会または乙種への会員種別変更が可能となります。

〈ご希望、お問い合わせは同窓会事務局まで〉

新入会者

杉山秀太 (37回生・甲) 埼玉県支部
江 思慧 (41回生・甲) 東京都支部

再入会者

堀内孝秀 (22回生・甲) 埼玉県支部
西郷 進太郎 (43回生・甲) 神奈川県支部
藤野拓郎 (43回生・甲) 神奈川県支部
永原隆吉 (35回生・甲) 広島県支部

『特別会員』

横地千仞 (元神奈川歯科大学 解剖学 教授) 2024.08.04 ご逝去

『正会員』

関 敏明 (神奈川県支部 16回生) 2024.05.12 ご逝去
上田千秋 (神奈川県支部 6回生) 2024.06.06 ご逝去
森 恭造 (徳島県支部 4回生) 2024.07.14 ご逝去
太田信夫 (長野県支部 7回生) 2024.08.28 ご逝去
池田健蔵 (長野県支部 5回生) 2024.09.03 ご逝去
長井慶文 (神奈川県支部 28回生) 2024.09.06 ご逝去
久野初枝 (神奈川県支部 4回生) 2024.09.11 ご逝去
法水隆文 (茨城県支部 13回生) 2024.09.29 ご逝去
小林秀樹 (長野県支部 7回生) 2024.10.04 ご逝去
西濱雅夫 (東京都支部 9回生) 2024.10.12 ご逝去
嶋田真勝 (福岡県支部 13回生) 2024.11.22 ご逝去
草壁英子 (千葉県支部 21回生) 2024.12.11 ご逝去
増野 周 (茨城県支部 8回生) 2024.12.13 ご逝去
大貫 昭 (栃木県支部 5回生) 2024.12.31 ご逝去

《褒章・叙勲・表彰について》

国（内閣府）・都道府県から褒章・叙勲を受章されたほかに、医療に携わり社会的に貢献した事を認められて（大臣表彰・都道府県・日本歯科医師会）から表彰を受章された先生方を会報（HP）でご紹介させていただきます。

会報掲載をご希望の先生は、支部名、回生、お名前、受章（表彰）名・受章（表彰）日・写真1枚と簡単なコメント（50字程度）を添えて事務局にお届出ください。

《編集後記》

会報第141号ではコロナ禍を乗り越えた2024年、本会主幹の第71回全国歯科大学同窓・校友会懇話会、学術講演会をはじめ各地区連合会、支部総会・学術講演会、クラス会が開催されました。対面ならではの交流を深めて絆を再確認できたとの報告が誌面を飾っています。

2025年、同窓会は創立50周年式典の開催が予定されています。これからの活動に向けて、オンラインで得た知見を活かしつつ、対面ならではの交流を深め、同窓会・同窓生の皆様が更なる発展を遂げる一年にしていきたいと思います。

編集委員：加来めぐみ(9回生) 金子宣由(19回生) 濱野奈穂(30回生) 市田佳子(33回生) 角井早紀(49回生) / 広報担当常務理事：川端啓義(12回生) / 広報担当理事：新井宗高(28回生) / アドバイザー：高橋 朗(12回生)

神奈川歯科大学同窓会会報 141号

発行：神奈川歯科大学同窓会
〒238-8580 横須賀市稲岡町82
TEL：046-825-0524 FAX：046-822-3538
URL：<https://inaoka82.com/> E-mail：ob-jimu@kdu.ac.jp



発行人：大館 満

発行日：2025年1月15日

印刷：一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22
TEL：03-3952-5651

被災された同窓生への災害支援に関する経過報告（令和6年6月～令和6年11月末現在）

第63回代議員会(平成14年7月13日)にて福祉共済の災害等への見舞金が廃止となりました。その後は、災害により被災された会員の先生がいらした場合には支援金を募集し対応しておりました。災害見舞金は早急な対応が要求されることから、平成29年度に災害見舞金制度を立ち上げて、見舞金の対象となる災害の基準を定め、理事会承認で見舞金の対応をしております。

災害発生日	災害見舞金支払日	支払内容
2024年1月1日 発生 能登半島地震	2024年7月5日	石川県支部の1名の会員に支援金50,000円をお支払い。 (内訳) ・自宅一部損壊 2024年2月15日に災害見舞金をお支払いの後に自治体発行の「り災証明書」が提出され協議の結果、今回は全国に支援金募集を求めずに災害見舞金より支援金をお支払い。
2024年8月22日 発生 台風10号	2024年9月22日	熊本県支部の1名の会員に災害見舞金20,000円をお支払い。 (内訳) ・カーポートの屋根の破損
		熊本県支部の1名の会員に災害見舞金20,000円をお支払い。 (内訳) ・自宅兼診療室の水もれ(雨漏り)

令和6年度災害見舞金予算額1,000,000円に対し、130,000円を被災された会員にお支払いしております。

(令和6年11月末日現在)

貴支部総会等の際に、支部会員の先生方から過去におけ被災状況の報告をお受けしたなどの話題がございましたら本部同窓会事務局までお知らせくださいますよう、宜しく願い申し上げます。



回生
(会員番号)ふりがな
氏名

支部

旧姓

<< 勤務先情報 >>

◆ 届出の登録情報に変更 【あり・なし】

◆ 冊子名簿への掲載について(希望する方に○をつけてください)

勤務先名 【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

【掲載・非掲載】

勤務先所在地 【掲載・非掲載】 〒

電話番号 【掲載・非掲載】

FAX番号 【掲載・非掲載】

携帯番号 【掲載・非掲載】

E-Mail 【掲載・非掲載】

※ アドレスを事務局宛にメール送信してください

<< 現住所情報 >>

◆ 届出の登録情報に変更 【あり・なし】

◆ 冊子名簿への掲載について(希望する方に○をつけてください)

住所 【掲載・非掲載】 〒

電話番号 【掲載・非掲載】

FAX番号 【掲載・非掲載】

携帯番号 【掲載・非掲載】

E-Mail 【掲載・非掲載】

※ アドレスを事務局宛にメール送信してください

<< 連絡方法 >>

1. 勤務先

2. 現住所

(送付を希望する方に○をつけてください)

≪ 空欄の箇所がある場合、既に登録(届出)してある情報の変更はいたしません ≫

会員の個人情報について「プライバシーポリシー」を定め、適切な取り扱い管理を行っています。
この届出が同窓生名簿原稿となることにご理解をいただき、氏名・回生・支部・役職・勤務先の名称、住所、電話番号は
掲載にご協力くださいますようお願い申し上げます。
※ 市町村合併に伴う住居表示変更・市内局番の変更に伴う電話番号表示変更につきましてもお知らせください。

※メールでの登録情報変更については

ob-jimu@kdu.ac.jp

宛にお問い合わせください

【お願い】

2024 年度版名簿発行以降に住所変更等の届出をされていない方は正確な情報を名簿に掲載することができるよう、裏面の『登録情報変更届』用紙をFAX・またはメールにてご連絡ください。

また、一般公開ページの下記のサイドメニューからの届出もできます。

市区町村変遷情報(市町村合併・市制変更等)による住所表示変更、電話番号表示変更についてもお知らせください。



※個人情報の保護のため、会員ご本人からの届出を原則とします。

URL : <https://inaoka82.com/>

E-mail : ob-jimu@kdu.ac.jp



神奈川歯科大学同窓会事務局

〒238-8580 神奈川県横須賀市稲岡町 82

TEL:046-825-0524 FAX:046-822-3538

医科・歯科特化

新規開院 医療法人化 事業承継

税務・会計
TAX ACCOUNTING

SOLUTION
SERVICE

社労士業務
SOCIAL &
LABOR INSURANCE

医業経営
コンサルティング
MEDICAL MANAGEMENT



みなとみらい税理士法人
高田会計事務所

所長・税理士 高田一毅

〒220-0011 横浜市西区高島2-3-25 みなとみらいTAビル
TEL:045-285-8880 FAX:045-285-8881
E-mail: ta@ac-systems.co.jp